

2022年～2023年度 国際ロータリーのテーマ



イメージ
ロータリー

2022～23年度
国際ロータリー会長

ジェニファー・ジョーンズ氏



 土浦ロータリークラブ写真館 



2009年4月11日
RI第2820地区 2008-09年度地区大会
廣瀬昭雄ガバナー輩出クラブとして大会主管

2022～2023年度(第65期 佐藤ばうろ年度)

7月第3例会プログラム

7月21日(第3094回) VOL.3

- 点 鐘
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 今期事業方針発表
- にこにこ&米山BOX
- 出席報告
- 点 鐘
- クラブソング

- 会 長
- 奉仕の理想
- 親睦活動委員会
- 理事・委員長
- S.A.A
- 出席委員会
- 会 長
- ともに歩もう

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー)承認 日本国内247番
創 立 1958年2月14日(昭和33年)
承 認 1958年3月 7日(昭和33年)

事務局:土浦市中央2-16-9(常陽銀行4F) TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場:L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12:30~13:30

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 佐藤 ばうろ 幹事 沼尻 大

第65期 事業計画

会員組織委員会

小坂 博 会員組織委員長

事業計画

1. 伝統と格式をのける土浦ロータリークラブですが、女性を中心に会員増強を目指します。
2. 比較的若い世代との交流機会を増やすことを実施する。
3. ロータリー・クラブは個人が社会に奉仕するということを学ぶ場とする。



委員長所見

今現在もコロナ禍の最中にあり、ロータリークラブ、ロータリークラブ活動が影響を受けて変わらざるを得ないのかなと思われます。コロナ禍はこれまで決して経験したことのないような事態です。そうした時は、おおよそ原点に帰るのが適当と思われます。ポール・ハリス 1905年2月23日ロータリークラブ設立、会食をし、人との交流、そして「I serve: 私は奉仕する」。

今の互いの希薄な関係をうけて、人と人の交流がこれほど大切なものかと思われます。できる限り委員が交流をできるように努めます。

会員増強委員会

白田 恭士 会員増強委員長

事業計画

多くの仲間と奉仕・親睦活動を行うために2820地区の具体的目標である、会員数純増で2名を目標といたします。

- ・クラブの様々な奉仕活動との連携や土浦ロータリークラブの紹介ビデオを使用して、幅広い分野で活躍されている若い会員や女性会員を入会に導くように努めます。
- ・既存会員の退会者を減らすべく、既存会員の状況等を把握した上で要望策を講じるように努めます。
- ・会員にヒアリングを実施し、入会候補者のリストを作成いたします。会員全員で共有できるようにし、適宜のタイミングでアプローチができるように努めます。



委員長所見

いまだ収束の兆しがみえない新型コロナ禍では

ありますが、奉仕活動も少しずつ以前の状況に戻りつつあります。様々な奉仕活動を共に行っていたただける土浦ロータリークラブに相応しい人材を少しでも多く入会に導けるように活動してまいります。

職業分類・会員選考委員会

小原 芳道 職業分類・会員選考委員長

事業計画

1. 充填、未充填の職業分類表を作成する。
2. 未充填の職業分類は関係委員会と協議し検討する。
3. 職業分類の見直しと新分野の職業分類を検討する。
4. 推薦された会員候補の選考については、当クラブの会員として適正かどうかを慎重に調査し、その可否を理事会に報告する。



ロータリー情報委員会

飯山 孝之 ロータリー情報委員長

事業計画

- ① 今期 RI 会長のテーマ「イマジン・ロータリー」地区ガバナーのスローガン「enjoy・life～人生を楽しむ～」をクラブ会員に周知し、この方針のもと奉仕活動を行う。
- ② 新会員に入会時、オリエンテーションを実施し、ロータリー情報を伝え、会員としての権利と責務及び奉仕活動に関する情報を提供し、ロータリーの精神である「親睦と奉仕」を理解していただく。
- ③ 入会3年未満の会員を対象に、ロータリー活動の理解を深めるため、STA委員会（Special Training for Action in Rotary）を年2回開催し新会員の例会や諸事業への積極的に参加を促し、クラブの活性化を図る。



クラブ管理運営委員会

原田 博夫 クラブ管理運営委員長

事業計画

クラブ運営委員会活動は RI テーマに則り、会長の掲げる目標に向かって活動を進めます。



1. 各委員会活動の運営を円滑に進めるためのサポート。
2. 多彩な親睦活動により、各委員会メンバーの相互交流と理解を進める。
3. プログラム充実により、出席率向上と会員相互交流と教養に資する。
4. クラブ会報の充実。
5. 外部発信によるクラブの公共イメージの向上。

委員長所見

クラブ運営は、2020 年初頭来のコロナ禍により約 2 年間は必ずしもスムーズとは言い難かったが、2022 年春以降は第 6 波にもかかわらず社会活動全体の正常化に伴い、回復基調にあります。2022 年夏以降はクラブ運営も復活できるものと念じ、対応してまいります

出席委員会

菊池 泰正 出席委員長

事業計画

1. 昨年度の計画の引き継ぎ、過去の出席データを活用して休みがちな会員様に積極的に声かけをしていきます。また LINE での事前告知（前日に翌日の案内を告知する）も行いたいと考えます。
2. ZOOM での配信環境が整いましたので、今後は配信内容の充実を図ってまいりたいと思います。
3. 前年度出席率 100% の模範会員を表彰し賞賛する。



委員長所見

ZOOM での配信環境が整いましたので、今年度まずは配信画面に例会場と同じ次第を掲載して、ZOOM 参加者に例会の内容が分かる配信にしていきたいと思います。また、対面の例会にも進んで出席していただけるようコミュニケーションを取りながら、出席率向上に努めてまいります。

親睦活動委員会

廣瀬 正 親睦活動委員長

事業計画

ロータリークラブ発足の原点である会員相互の親睦を深め、懇親会を計画します。



1. 親睦活動の原点に立ち返り、例会会場受付でクラブ来訪者や会員を笑顔でお出迎えし、印象の良い接待と和やかな雰囲気づくりに努めます。
2. 新入会員歓迎会・家族懇親会・忘年会・観桜会の開催。
3. 誕生祝・結婚記念・入会記念祝等の実施。
4. 地区・分区行事への参加や支援。
5. 各種同好会への参加や支援。

委員長所見

Service&Fellowship、ロータリーの背骨である奉仕活動と親睦活動はニューノーマルな参加型へ変化しています。会議や例会もリアルとオンラインを交えたハイブリット型が主流となりつつありますが、やはり親睦はリアルが一番と考えます。会員の皆様が安心して参加できる親睦会の開催を目指し、委員会全員で知恵を絞り対策を講じてまいりますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

公共イメージ委員会

藤澤 昭彦 公共イメージ委員長

事業計画

1. 例会での「ロータリーの友」の紹介
2. クラブ HP、SNS での対外的 PR
3. 当委員会と連携事業である体験型こども食堂への協力と PR
4. その他理事会よりの要望に応じた事業



委員長所見

WEB 上に出ているロータリーの友を早めに読み、当日は会員の皆様にひとつのトピックを掘り下げる形で紹介する事などにもトライしてみたい。また当クラブの HP、TWITTER など活用し、新たな取り組みであるこども食堂等も対外的に発信をしていきたい

国際奉仕委員会

中島 賢一 国際奉仕委員長

事業計画

- 1、訪台団を結成し台北陽明ロータリーを訪問して、姉妹クラブとしての友好関係をさらに深めていきたい。
- 2、2014年以来延期になっている台北陽明ロータリークラブとの調印式を是非、今年度こそ実現したい。
- 3、我が2028地区とネパール3292地区は友好地区となっている。



ネパールはとても貧しい地区だが、とても心豊かな国でもあり、120のロータリークラブと5000人近くのロータリアンがいる。

我が土浦ロータリークラブの50周年事業として、ファクシンコート郡スルダングダ村のガネッシュ高等学校に校舎の一部を建築寄贈しているが現在はどのような状態なのか見当もつかない。来期は65周年記念事業ということもあり、ガネッシュ高等学校校舎の現在の状況調査を行い、修復や追加設備などが必要か検討とその実現を行いたいと考えている。

来訪ロータリアン

稲本修一君(土浦南RC)



クラブ協議会

新入会員入会式



米山ボックス

7/14 計19,000円

累計19,000円

「米山ボックス」の新設

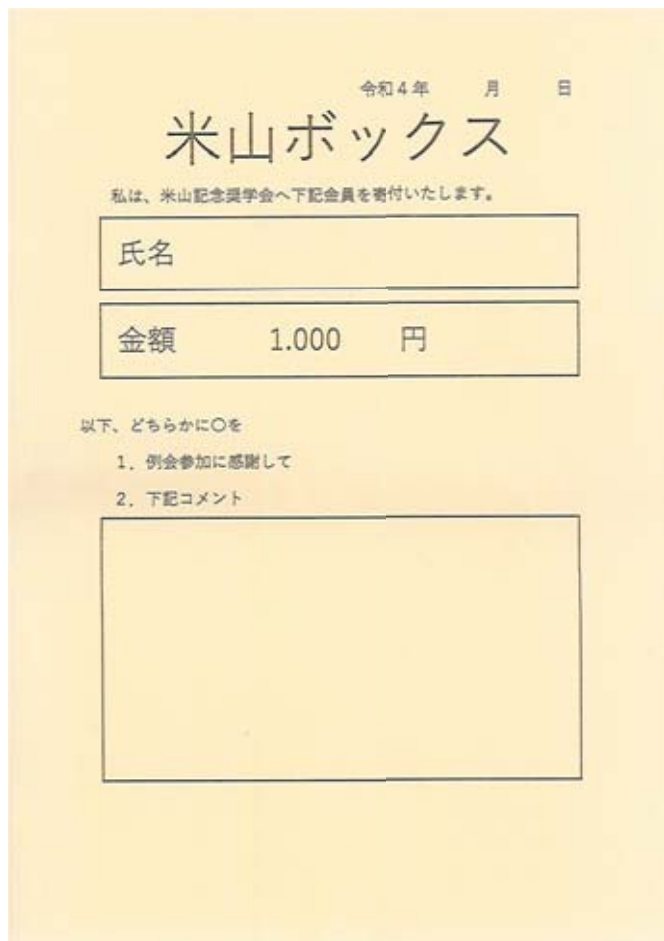
米山記念奨学委員会

佐藤年度では、クラブの創立65周年記念事業として「米山ボックス」を創設し、7月第1例会から寄付を募ります。10月の米山月間では従来通り会員の皆様に3万円を基準に募金をお願い致しますが、それとは別に常設の「米山ボックス」を設け、一回1,000円の寄付を募るものです。

現在、私たちが例会出席できるのも、私たちの事業経営が順調であればこそであります。それは日本国が平和であり、日本の社会が平穏であるからでもあります。そのように思うとき、世界理解・平和・親善のための優秀な海外留学生を支える「米山記念奨学会」に対し、「今日クラブ例会に出席できることに感謝して！」の想いをご寄付という形で顕わして戴きたいと思っております。

毎例会とは申しません。月1回、2カ月に1回でも充分です。思い出したようにでも構いません。65周年の記念事業ですので、次年度に継続しなくてもよいと思っています。

この寄付額はその会員の米山奨学会への寄付の実績に加算します。米山ボックスの用紙を用意します。氏名と金額を添えて、コメントはなくても記載してもどちらでも結構です。ニコニコと同様に例会で発表し、週報に氏名を掲載します。ニコニコとは別の趣旨でありまので、このためにニコニコが減少しないことも併せ能々お願い申し上げます。



令和4年 月 日

米山ボックス

私は、米山記念奨学会へ下記会員を寄付いたします。

氏名	
金額	1,000 円

以下、どちらかに○を

- 例会参加に感謝して
- 下記コメント

にこにこBOX

7/14 計81,000円

累計205,000円

メイクアップ

7/16 ローター財団・社会奉仕委員会合同研究会
関本、高橋、平島、渡邊

出席報告

会員	欠席	出席	免除・欠席	出席率
53名	13名	35名	5名	72.91

出席（会場）34名（ZOOM）1名

例会予告

7月28日 会員卓話 白田 恭士 会員